

FAO/WHO専門家グループ

コーデックスに対する科学的な助言とリスク評価を提供

- 合同残留農薬専門家会議 (JMPR)
- 合同食品添加物専門家会議 (JECFA)
- 合同微生物リスク評価専門家会議 (JEMRA) 等

2004/7/26 K.Miura

コーデックス規格の作成手順

ステップ1	コーデックス総会において作成開始
ステップ2	事務局による規格原案作成
ステップ3	規格原案を各国政府等に送付、コメントの要請
ステップ4	担当規格部会による規格原案の検討
ステップ5	コーデックス総会または執行委員会による規格原案の検討から規格案採択へ
ステップ6	規格案に対し各国政府等にコメントの要請
ステップ7	部会会議において採択・必要に応じ修正
ステップ8	コーデックス総会が規格案を検討し、コンセンサスまたは投票によりコーデックス規格として採択

コーデックス委員会の活動への影響因子

世界の食品貿易の増大
 食品由来の疾病に関する懸念の増大
 新しい食品技術や新食品の開発
 食品バイオ・テロのリスク
 WTO協定のもとでのコーデックス規格の位置づけ

2004/7/26 K.Miura

リスク分析

リスク評価 ← 科学に基づいたプロセス

-) ハザード同定: Hazard Identification
-) ハザード特性付け: Hazard Characterization
-) 暴露評価: Exposure Assessment
-) リスク判定: Risk Characterization

リスク管理 ← 政策の選択肢を考慮するプロセス

リスク・コミュニケーション ← 情報・意見の相互交換

2004/7/26 K.Miura

リスク分析の三要素

- リスク評価
 - どのようなリスクがどれだけあるかを推定
- リスク管理
 - リスクを低減するための措置
- リスク・コミュニケーション
 - リスクについての情報・意見の交換

2004/7/26 K.Miura

総会での主な議題

- 一般原則部会
 - 議長・副議長の選出
 - トレーサビリティ/プロダクト・トレーシングの定義
- 食品添加物・汚染物質部会
 - 一般基準(GSFA)の食品分類
 - 食品中のカドミウム基準値

2004/7/26 K.Miura

総会での主な議題

食品衛生部会

- 乳及び乳製品に関する衛生規範
- 食品安全目的 (Food Safety Objective) ・ 実行目的 (Performance Objective) ・ 実行基準 (Performance Criteria) に関する定義

2004/7/26 K.Miura

総会での主な議題

- 適正保護水準 (Appropriate Level Of Protection) : ある国において実施される食品衛生システムによって達成されるべき公衆衛生の保護の程度
- 食品安全目的 (FSO) : ALOPを達成するため、満足消費時点での食品中のハザードの頻度と濃度の最大値

2004/7/26 K.Miura

総会での主な議題

- 実行目的 (PO) : ALOP又はFSOを達成するため、消費段階前の一定段階における食品中のハザードの頻度と濃度の最大値
- 実行基準 (PC) : 食品中のハザードの頻度と濃度に対して、FSO又はPOを達成するために実施される対策が満たすべき効果

2004/7/26 K.Miura

総会での主な議題

食品表示部会

- 「広告」の取り扱い
- 遺伝子組換え食品の表示
- 分析・サンプリング法部会
- サンプリングに関する一般GL
- 測定の不確実さに関するGL

2004/7/26 K.Miura

総会での主な議題

残留農薬部会

- 残留農薬基準値改訂等
- 食品輸出入検査・証明制度部会
- 食品の緊急事態における情報交換のためのGL改訂

2004/7/26 K.Miura

総会での主な議題

栄養・特殊用途食品部会

- ビタミン・ミネラル補助食品に関するGL
- 乳児用調整粉乳の規格改訂
- その他
- バイオテクノロジー応用食品特別部会の所掌範囲

2004/7/26 K.Miura

コーデックス委員会の今後

食品安全性の確保にむけて、その役割は一層重要になるとの国際的認識

コーデックス委員会と独立した科学的なサポートの強化

コーデックス委員会への日本の関与の深まり

2004/7/26 K.Miura

コーデックス連絡協議会

総会・各部会の日程に応じて、年5～6回開催

学識経験者・消費者・事業者団体等によって構成

わが国の対処方針策定に寄与

2004/7/26 K.Miura